



交通安全市民会議 ニュース



秋から冬は「歩行中の事故」が増加します

【警察庁資料】

歩行中(第1・第2当事者)の月別・昼夜別死者数の推移

【令和2～6年合計】



秋から冬は、歩行中の交通事故死者(特に夜間)が増加傾向にあります。原因の一つに、日没が早まり、周りが見えにくくなる夕方5～7時に、人や車の多い通勤通学時間が重なることが挙げられます。



反射材を身につけよう、ハイビームで見つけよう



歩行者 夜間は反射材で目立とう

早めに発見されやすい

反射材を着用している人は、着用していない人より「**2倍以上手前**」で運転者に発見され、事故の危険を早く回避できます。



誰でも簡単に事故防止対策

反射材にはキーホルダーやタスキ、腕やバッグに巻き付けるタックルなどがあります。反射素材でできている帽子や傘もあります。昼間は黒色で、夜間に光が当たると反射するシールもあり、くつやバッグに貼ることができます。

百元ショップやホームセンターなどで購入できます!



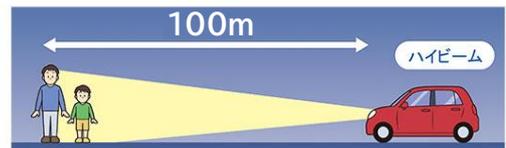
効果的な着用ポイント

- ◎腰より下の位置 → 車のライトが当たりやすい
- ◎体の側面 → 道路横断時に目立ちやすい
- ◎動きのある部分 → 腕や足など、運転者の注意を引きやすい

ドライバー ハイビームを上手に活用

見える距離の違い

ロービームは約 40m、ハイビームは約 100m 先まで照らせるため、歩行者や障害物の早期発見に有効です。



使い分けが重要

対向車や先行車がいる場合はロービームに切替え、げん惑(まぶしさ)や蒸発現象(歩行者が見えなくなる現象)を防ぎましょう。



《豊田警察署からのお願い》

停止線「ぴたっ」と止まって安全確認

～安全は正しい停止から 停止線の直前で停止し安全確認を!～

ぴたっと止まろう!

